

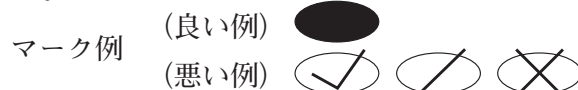
令和7年度（令和6年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

高等学校 書道

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●0	○1	○1	○1	○1
○2	●2	○2	○2	○2
○3	○3	●3	○3	○3
○4	○4	○4	●4	○4
○5	○5	○5	○5	●5

記入例

(受審番号12345の場合)

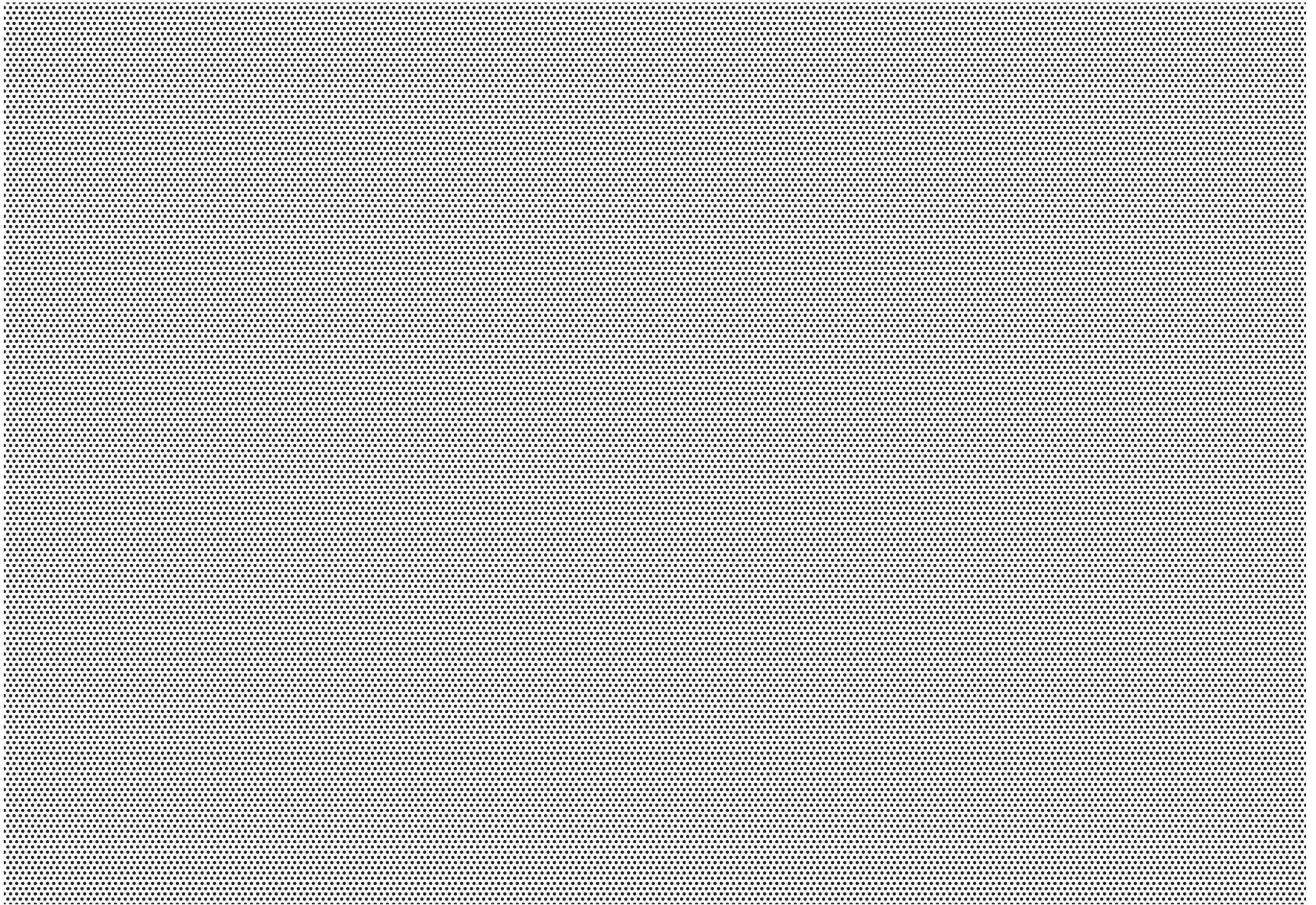
- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄の記号をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

(例)

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答記号に対しては、解答欄の記号を二つ以上マークしない
でください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。受審者は、審査室内のすべての解答用紙（マークシート）が回収された後、監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問

1 次の(1)～(4)の問いにそれぞれ答えなさい。

- (1) 次の文は平成三十年告示の高等学校学習指導要領の解説における「第1部 芸術編」
「第2章 各科目」「第10節 書道I」の「共通事項」の「④造形性と空間性」の一部
を示したものである。□①、□②、□③に該当する適切な語句の
組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。 □ア

書は視覚芸術であり、造形芸術である。それゆえ、書には、視覚によって捉えられる文字及び文字群の造形がある。表現においては、文字としての□①を確保しながら、表現上の対象として様々な文字及び文字群の造形を工夫することになる。均斉、均衡、変化、統一等の「造形性」に、「時間性」や「運動性」が生み出す「□②」が加わって様々な「形態美」が生じ、その先に「□③」がもたらされる。加えて、用具・用材による濃淡・潤渇等の「墨色の美」、用筆・運筆や筆鋒の開閉から生まれる「線の美」も「造形性」を担うものとして捉えることができる。

- | | | | |
|---|-------|-------|----------|
| a | ① 規則性 | ② 律動性 | ③ 整齊の美 |
| b | ① 基準性 | ② 周期性 | ③ 調和の美 |
| c | ① 規範性 | ② 律動性 | ③ 調和の美 |
| d | ① 規範性 | ② 周期性 | ③ つり合いの美 |
| e | ① 規則性 | ② 均衡性 | ③ 整齊の美 |

- (2) 平成三十年告示の高等学校学習指導要領の解説における「第1部 芸術編」「第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」のうち、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の内容に関する文として誤っているものを、次の a ～ e から一つ選びなさい。

イ

- a これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、これまでの優れた教育実践の蓄積も生かしながら、学習の質を一層高める授業改善を推進していくことが求められている。
- b 指導に当たっては、学力の三要素が偏りなく実現されるよう、題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。
- c 主体的・対話的で深い学びは、1単位時間の授業の中で全て実現することが望ましく、題材など内容や時間のまとまりの中で、学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった観点で授業改善を進めることが求められる。
- d 生徒や学校の実態に応じ、多様な学習活動を組み合わせることで授業を組み立てていくことが重要であり、題材など内容や時間のまとまりを見通した学習を行うに当たり基礎となる「知識及び技能」の習得に課題が見られる場合には、それを身に付けるために、生徒の主体性を引き出すなどの工夫を重ね、確実な習得を図ることが必要である。
- e 芸術科においては、芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりする過程を大切にしながら学習の充実を図ることが重要である。

- (3) 次の文は平成三十年告示の高等学校学習指導要領の解説における「第1部 芸術編」「第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」のうち、「障害のある生徒などへの指導」の内容の一部を示したものである。

④

ウ

障害のある生徒などの指導に当たっては、個々の生徒によって、見えにくさ、聞こえにくさ、④、移動上の制約、健康面や安全面での制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集中を持続することが苦手であることなど、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することを、各教科等において示している。

- a 知覚したことを動作化する困難さ
- b 材料などの違いを感じ取る困難さ
- c 素材などの変化を見分ける困難さ
- d 用材の選択の困難さ
- e 道具の操作の困難さ

- (4) 平成三十年告示の高等学校学習指導要領の解説における「第1部 芸術編」「第3章 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」のうち、「情報機器の活用等に関する配慮事項」の一部を示したものである。⑤に該当する適切な語句を、あとのa～eから一つ選びなさい。

工

各科目の表現や鑑賞の学習では、適切な資料や情報を提示することによって、生徒の発想や意欲を刺激し、効果的に学習を深めることができる。このためには、学校の実態に応じて⑤などの活用を図ったり、コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用したりした指導計画を工夫する必要がある。

- a 学校図書館 b 美術館 c 博物館 d 郷土資料館
e 国立・県立図書館

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は平成三十年告示の高等学校学習指導要領における「第2章 各学科に共通する各教科」「第7節 芸術」「第12 書道Ⅲ」の「2 内容」「A 表現」の「(1) 漢字仮名交じりの書」のAを示したものである。⑥に該当する適切な語句を、あとのa～eから一つ選びなさい。

オ

A 主体的な構想に基づく⑥な表現を追求すること。

- a 独創的、新規的 b 個性的、創造的 c 新規的、発展的
d 独創的、創造的 e 個性的、発展的

- (2) 次の文は平成三十年告示の高等学校学習指導要領における「第2章 各学科に共通する各教科」「第7節 芸術」「第12 書道Ⅲ」の「2 内容」「B 鑑賞」の「(1) 鑑賞」のAを示したものである。⑦、⑧に該当する適切な語句の組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。

カ

A 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について考え、書

のよさや美しさを味わって深く捉えること。

- (ア) 書の⑦価値
(イ) ⑧書の芸術性

- a ⑦ 一般的 ⑧ 伝統を踏まえた
b ⑦ 社会的 ⑧ 学書を踏まえた
c ⑦ 現代的 ⑧ 伝統を踏まえた
d ⑦ 普遍的 ⑧ 書論を踏まえた
e ⑦ 永遠的 ⑧ 学書を踏まえた

3 次の(1)～(4)の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 次の文は平成三十年告示の高等学校学習指導要領の解説における「第1部 芸術編」
「第2章 各科目」「第10節 書道I」の「2 目標」の「科目の目標(2)」に関する内
容の一部を示したものである。 ⑨、⑩、⑪に該当する適切
な語句の組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。 キ

書 のよさや美しさを感受しとは、表現領域の臨書活動や鑑賞領域において、まず書
のよさや美しさを直感的に受け止め、それが ⑨ となることを示している。

意図に基づいて構想し表現を工夫しとは、生徒が自ら心に響く言葉を選定したり、
内的欲求や外的刺激による感動によっておこる思いや感興に基づいて、作品を構想し
表現を工夫したりして、 ⑩ 作品を完成させることである。

(略)

書 の美を味わい捉えたりするとは、書を構成する要素や表現性、表現効果や風趣の
視点をもって、作品や書のよさや美しさを感じ取り、それを生み出す ⑪ を考
え、感性を働かせて、評価しながら作品や書を捉えることである。

- | | | | | | | |
|---|---|--------|---|----------|---|----|
| a | ⑨ | 活動の発端 | ⑩ | 目標に応じて | ⑪ | 理由 |
| b | ⑨ | 活動の契機 | ⑩ | 試行錯誤しながら | ⑪ | 根拠 |
| c | ⑨ | 活動のねらい | ⑩ | ねらいに合った | ⑪ | 要因 |
| d | ⑨ | 活動の契機 | ⑩ | 意図に沿った | ⑪ | 根拠 |
| e | ⑨ | 活動の発端 | ⑩ | 意図に応じた | ⑪ | 理由 |

(2) 次の文は平成三十年告示の高等学校学習指導要領の解説における「第1部 芸術編」
「第2章 各科目」「第10節 書道I」の「3 内容」の「B 鑑賞」に関する内容の一
部を示したものである。 ⑫、⑬に該当する適切な語句の組み合わせ
を、あとのa～eから一つ選びなさい。 ク

ここでの「知識」は、書のよさや美しさを味わって捉える過程を通して実感的に習
得されるものであり、作品の名称や鑑賞に関する用語等を ⑫ することを目的
とするような活動にならないようにすることが重要である。また、知識を習得してか
ら、書のよさや美しさを味わって捉えるといった ⑬ をもって育成するもので
はないことに留意する必要がある。

- | | | | | |
|---|---|----|---|-----|
| a | ⑫ | 記録 | ⑬ | 順序性 |
| b | ⑫ | 記憶 | ⑬ | 系統性 |
| c | ⑫ | 記録 | ⑬ | 段階 |
| d | ⑫ | 理解 | ⑬ | 連動性 |
| e | ⑫ | 記憶 | ⑬ | 順序性 |

- (3) 次の文は、国立教育政策研究所の『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」における「第1編 総説」の「第1章 平成三〇年の高等学校学習指導要領改訂を踏まえた学習評価の改善」の「2 平成三〇年の高等学校学習指導要領改訂を踏まえた学習評価の意義」の「(4) 学習評価の改善の基本的な方向性」の内容の一部を示したものである。
- ① 児童生徒の [14] につながるものにしていくこと
- ② 教師の [15] につながるものにしていくこと
- ③ これまで [16] として行われてきたことでも、 [17] が認められないものは見直していくこと
- ④ [14]、 [15]、 [16]、 [17] に該当する適切な語句の組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。
- ケ

a	⑭ 学習改善	⑮ 指導改善	⑯ 慣行	⑰ 必要性・妥当性
b	⑭ 主体的な学び	⑮ 授業改善	⑯ 伝統	⑰ 妥当性・信頼性
c	⑭ 意欲的な学び	⑮ 資質向上	⑯ 慣例	⑰ 必要性・普遍性
d	⑭ 深い学び	⑮ 指導改善	⑯ 習慣	⑰ 必然性・妥当性
e	⑭ 学びに向かう力	⑮ 授業改善	⑯ 慣行	⑰ 信頼性・確実性

- (4) 次の文は、国立教育政策研究所の『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」における「第1編 総説」の「第1章 4 平成三〇年の高等学校学習指導要領改訂における各教科・科目の学習評価」の内容に関する文として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。
- コ

- a 「知識・技能」の評価は、各教科等の既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価するものである。
- b 「知識・技能」の具体的な評価の方法としては、ペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮するとともに、実際に知識や技能を用いる場面を設けるなど、多様な方法を適切に取り入れていくことが考えられる。
- c 「思考・判断・表現」の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものである。
- d 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、各教科等の観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意識的な側面を評価することが重要である。
- e 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価することである。

第2問

1 次の文章を読み、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

殷から春秋・戦国時代に至るまで、さまざまな地域で多様に展開されていた
 ①は、統一国家の秦によって、②という一つの形に整いました。しかし、文字を読み書きできるのは官職にある役人などの限られた人々で、彼らが使用する用具・用材や、筆記する文書量の増加などにより、②以外の実用的な書体が発達しました。これが隷書の始まりです。

隷書では、円運動が多く曲線的な①の点画が直線化し、水平垂直の意識が生まれ、左右の払いという毛筆ならではの用筆が出現します。③木竹片への書写という実用から発達した隷書は波勢のリズムと、④という特徴をもつ書体として、漢時代に極まりました。

(1) ①について説明したものとして誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。 ア

- a 王室の祭祀、戦争や狩猟、農作物の豊凶などについて記されたものがある。
- b 亀甲や獣骨に刻まれたものの、各文字は直線を主力に構成されている。
- c 鑄込まれた文字もあり、書風は時代や地域によって違いがある。
- d 点画の一部が欠けているものもあり、臨書の際には注意が必要である。
- e 象形文字が中心で、数詞や指事語など記号的な文字は存在しなかった。

(2) ②について説明したものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。 イ

- a 装飾的な姿で、多様な文字の大きさがあり整然美がない。
- b 統一するために形を整える必要があり、北京在来の文字を基準にして統一した。
- c 国家統一後に始皇帝は視察を兼ねて各地を巡遊し、自己の徳をたたえる文を八箇所
の石に刻ませた。
- d 徳をたたえた石の一つが泰山刻石で、現在は中国国家博物館に安置されている。
- e 残石が現存するものには琅邪台刻石があり、現存文字は八十六字が残っている。

- (3) 傍線③に関わるものとして示した次の図版について説明したものとして誤っているものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

ウ

- a 一九七五年末から発掘した二〇〇〇本あまりの竹簡の一つである。
 b 書写された時期は、紀元前二一七年頃のものとなっている。
 c 召隸体と呼ばれる実用書体で書かれている。
 d 法律に関する文書が多く、当時の社会を知る史料である。
 e この出土によって秦時代の日常書写の実態が明らかになった。

- (4) 文中にある ④ をもつ作品のうち、「乙瑛碑」と同じ碑林に現存するものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

エ

- a 孔宙碑 b 西嶽華山廟碑 c 衡方碑 d 西狹頌 e 張遷碑

- 2 次の図版は、草書に秀でた唐代の人物の作品である。あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) この図版の作者について説明したものとして誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

オ

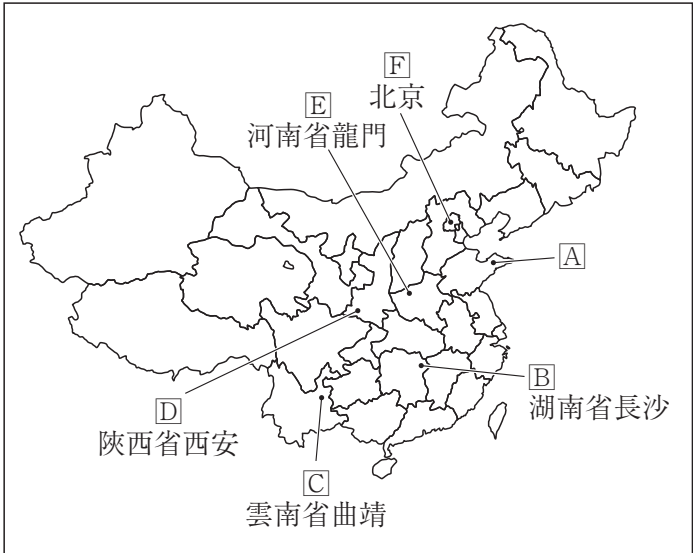
- a 「草聖」といわれた人物である。
- b 伝統的な書法も継承している。
- c 「多宝塔碑」の作者に学んでいる。
- d 酒を好み酔って狂ったように書いたなどの逸話がある。
- e この人物のことを詠んだ杜甫の詩がある。

- (2) 図版の人物とともに、「狂草」を得意とした人物の作品として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

カ

- a 苦筍帖
- b 草書千字文
- c 論書帖
- d 食魚帖
- e 韭花帖

3 次の地図について、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。



(1) 地図中の[A]にある「鄭義下碑」について説明したものととして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

キ

- a 四世紀に書かれたものである。
- b 整面された石碑に書が刻されている。
- c 山東省の雲峰山に刻された碑である。
- d 筆者の祖父の業績を記したものである。
- e 方勢で力強い構成で、雄大である。

(2) 次の図版の碑が現存する場所として適切なものは地図中の[B]～[F]のどこか、あとのa～eから一つ選びなさい。

ク

- a [B]
- b [C]
- c [D]
- d [E]
- e [F]

4 次の図版A～Cについて、あとの(1)～(3)の問いにそれぞれ答えなさい。

A

B

C

(1) 図版Aの作者の作品として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ケ

- a 恩命帖 b 藏真帖 c 女車帖 d 去夏帖 e 頭弁帖

(2) 図版Bの作者について説明した次の文の⑥、⑦、⑧に該当する適切な語句の組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。

コ

早くから才能を発揮し、多くの能書の記録を残している。また、⑥とは深く交流している。

「枕草子」をはじめ、多くの文学に様々な逸話が残されている。瀟洒な書きぶりは、その後の日本書道史に大きな影響を与え、和様の完成者であり、⑦の始祖とされる。遺墨に⑧などがある。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| a | ⑥ | 藤原道長 | ⑦ | 世尊寺流 | ⑧ | 本能寺切 |
| b | ⑥ | 藤原兼家 | ⑦ | 青蓮院流 | ⑧ | 太田切 |
| c | ⑥ | 藤原道長 | ⑦ | 持明院流 | ⑧ | 日野切 |
| d | ⑥ | 藤原兼家 | ⑦ | 世尊寺流 | ⑧ | 太田切 |
| e | ⑥ | 藤原道隆 | ⑦ | 青蓮院流 | ⑧ | 本能寺切 |

(3) 図版Cについて説明したものとして誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

サ

- a この作者は有名な漢学者の孫である。
- b 青年期に書の才能を見いだされたが、晩年になってから官界に入る。
- c 王羲之の生まれ変わりと人々から称賛されるほどの能書家になる。
- d 他の作品に「智証大師諡号勅書」「玉泉帖」などがある。
- e この作者の表現は「和様」と称され、書道史上に大きい足跡を残した。

5 次の図版(1)～(4)の作品名や作者名として適切なものを、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

- | | | |
|---|-------|--|
| a | 趙寛碑 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">シ</div> |
| b | 一弗造像記 | |
| c | 高貞碑 | |
| d | 賈思伯碑 | |
| e | 張猛龍碑 | |

(2)

- | | | |
|---|---------|--|
| a | 萊子侯刻石 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">ス</div> |
| b | 始平公造像記 | |
| c | 群臣上酺刻石 | |
| d | 金郷県出土残石 | |
| e | 楊淮表記 | |

(3)

- | | | |
|---|-----|--|
| a | 鮮于枢 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">セ</div> |
| b | 蘇軾 | |
| c | 米芾 | |
| d | 黄庭堅 | |
| e | 蔡襄 | |

(4)

- | | | |
|---|-----|--|
| a | 王徽之 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">ソ</div> |
| b | 陳淳 | |
| c | 王珣 | |
| d | 王献之 | |
| e | 王寵 | |

第3問

1 次の(1)～(4)の図版の表す文字の字源として適切なものを、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

a 安 ア
b 要
c 散
d 数
e 類

(2)

a 岸 イ
b 乎
c 牟
d 平
e 群

(3)

a 裳 ウ
b 堂
c 盤
d 當
e 棠

(4)

a 半 工
b 所
c 流
d 衛
e 保

2 次の(1)～(3)の間にそれぞれ答えなさい。

(1) 次の図版の説明として適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

オ

- a もとは『新古今和歌集』を一首ずつ書いた卷子本であったが分割された。
- b 今日約四十枚が確認され、名称は書写された用紙の形状による。
- c 亀甲文様や瓜などの図柄を手描きした和紙が使用されている。
- d 二つの文字群からなる構成の散らし書きがほとんどである。
- e 料紙や書風から十一世紀後半の書と推定される。

(2)

次の図版の説明として誤っているものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

力

- a もとは藍や紫などの染紙であつらえた粘葉装冊子である。
- b 全て、右面に上の句、左面に下の句が書かれている。
- c 『万葉集』などの歌、三十五首ほどが知られる。
- d 詞書や詠者名を省いて書写されている。
- e 抑揚の効いた運筆で、絶妙な構成の散らし書きである。

(3) 次の図版について説明した文の①、②、③に該当する適切な語句の組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。

キ

内容は、①を書いたものであり、もとは②であったが、分割された形から、この名があり、約③枚が確認されている。料紙は鳥の子（雁皮紙）の素紙や薄藍の染紙で、それに雲母砂子をまいたものもある。十一世紀後半の書と推定される。

a	①	古今和歌集	②	卷子本断簡	③	二十
b	①	重之の子の僧の集	②	綴葉装冊子	③	二十
c	①	深養父集	②	綴葉装冊子	③	三十
d	①	深養父集	②	卷子本断簡	③	三十
e	①	麗花集	②	粘葉装冊子	③	四十

3

次の図版の説明として適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

ク

- a 全て拾遺和歌集の歌が書かれている。
- b 切名の由来は旧蔵者の茶室名に由来する。
- c 掛軸として伝来したが、六枚に分割された。
- d 雲母砂子を撒いた淡い藍色の雲紙を使用している。
- e 書写年代は十二世紀なかと推定されている。

4 次の図版はある場面の絵と詞書である。あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) この図版の説明として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ケ

- a 短編物語を題材にして制作されたある場面の絵と詞書である。
- b 「伴大納言絵巻」「竹取物語絵巻」とともに日本三大絵巻の一つに数えられる。
- c 物語一帖につき、一～五場面を取り上げ、絵画化されている。
- d 各帖の冒頭に絵画があり、その後、詞書が続く形式になっている。
- e 現存最古の絵巻であり、国宝に指定されている。

(2) この図版の作品の成立年代として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

コ

- a 十一世紀前半
- b 十一世紀後半
- c 十二世紀前半
- d 十三世紀前半
- e 十三世紀後半

第4問

1 次の図版(1)～(4)の作者名として適切なものを、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

ア

- a 浜田 広介
- b 宮澤 賢治
- c 坪田 譲治
- d 巖谷 小波
- e 草野 心平

(2)

イ

- a 平塚らいてう
- b 三宅 花圃
- c 島崎 藤村
- d 樋口 一葉
- e 中島 歌子

(3)

ウ

a 尾崎紅葉

b 坪内逍遙

c 斎藤緑雨

d 幸田露伴

e 夏目漱石

(4)

エ

a 菊池寛

b 佐藤春夫

c 芥川龍之介

d 山本有三

e 室生犀星

2 次の図版(1)～(3)の作者名として適切なものを、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

- | | | |
|------|-------|---|
| e | a | 才 |
| | 烏丸光広 | |
| 小堀遠州 | | |
| | b | |
| | 近衛信尹 | |
| | c | |
| | 松花堂昭乗 | |
| | d | |
| | 本阿弥光悦 | |

(2)

- a

良寛

力
- b
- 燕村
- c
- 池大雅
- d
- 仙厓
- e
- 松尾芭蕉

(3)

- a

平塚らいてう

キ
- b
- 与謝野晶子
- c
- 松井須磨子
- d
- 林芙美子
- e
- 樋口一葉

第5問

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 「碑」についての説明として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ア

- a 秦代から、この名称が用いられるようになった。
- b 人工的に形を整えた石面に文字を刻し竪立したもの。
- c 全面に刻す場合は、陽の面から右の側面へ行き、陰の面へと進む。
- d 筆意を損なわないよう、石の面に直接文字を書いて刻すことが多い。
- e 北魏時代のもものが東周時代に脚光を浴び、学書の理論が構築された。

(2) 現存最古といわれる「温泉銘」の拓本を現在保有する国として適切なものを、次の

a～eから一つ選びなさい。

イ

- a 日本
- b 中国
- c アメリカ
- d イギリス
- e フランス

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文の **A** **ウ** を、あとのa～eから一つ選びなさい。

奈良正倉院には、**A** が聖武天皇に献上したとされる筆(**B**)が18本伝わっている。これらの筆は、芯となる毛に **C** を巻き、その周囲に毛を植えて穂を作る巻筆である。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|-----|
| a | A | 持統天皇 | B | 天平筆 | C | 衣毛 |
| b | A | 光明皇后 | B | 奈良筆 | C | 薄経木 |
| c | A | 推古天皇 | B | 飛鳥筆 | C | 薄葉紙 |
| d | A | 皇極天皇 | B | 奈良筆 | C | 薄絹 |
| e | A | 光明皇后 | B | 天平筆 | C | 薄葉紙 |

- (2) 日本で、「和端溪」の異名を持つ硯の産地として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

工

- a 宮城県 b 山梨県 c 三重県 d 山口県 e 高知県

- 3 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

室町末期から茶席の掛物として古筆が用いられるようになってから、多くの手本が切となって散在していったが、切を系統的に便利に鑑賞するために考案された形態が

Aである。

- (1) Aの中に当てはまる語として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

オ

- a 葉子本 b 調度手本 c 手鑑 d 大鑑 e 切鑑

- (2) 古筆切の鑑定の際に推定した切の筆者・書き出しの語句などが記された紙片の名称として適切な語を、次のa～eから一つ選びなさい。

カ

- a 極札 b 記録切 c 懸紙 d 外題 e 書札

- 4 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

平安初期は、唐文化追随、模倣の時代であった。当時の中国から将来された新書風の影響を受け、日本書道史上空前、質的に高度な書が残された。この時の中心となった人物を庇護したのが、Aである。

A

- (1) Aについての説明として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

キ

- a 桓武天皇の皇子である。
b 律令制度を变革し、治世に功があった。
c 詩人であり、能書家である。
d 高野山金剛峯寺に伝存する「周易抄」は国宝である。
e 漢詩文集『凌雲集』編纂の勅命を下した。

- (2) Aとともに同時代の能書家三人について記載がある書に関する文献として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ク

- a 法華義疏 b 夜鶴庭訓抄 c 雑集 d 灌頂歴名
e 杜家立成雑書要略

